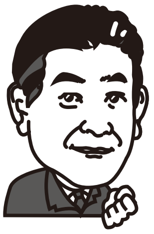
町長の改革日記

子どもたちの可能性は無限大



4月5日(金)に大治中学校、4月8日(月)に町内3小学校の入学式が執り行われ、中学1年生320名、小学1年生356名の新たな生活が始まりました。小学1年生は椅子に座ってもまだ足が床に着かないため、ぶらぶら。これからの6年間でいろいろなルールを覚えていくことでしょう。よく学び、よく遊んでたくさんの友達を作ってほしいと思います。また、中学校3年間はとても早く過ぎていきます。思春期にも入り、いろんな感情が芽生えることでしょう。君たちの可能性は無限大です。どうか大きな夢を持ち、自分の可能性に挑戦してください。

●入学式での挨拶

3月18日(月)、2月に訪問したカナダ領事館のマット・フレイザー領事に加え、中国領事館の李哲領事、そして南山大学教授で前アメリカ領事のエドワード氏と大治町との国際交流や子どもたちの交流、グローバル教育について、2時間ほど語りました。みなさん、特に自国や国際社会についての思い入れはとても強く、熱く議論を交わしました。5月には大治中学校にて、マット・フレイザー領事にカナダや領事館の仕事について、講演をしていただきます。これをきっかけに、子どもたちが国際社会に関心を持ち、海外で活躍する外交官になってほしいです。

●エドワード氏、マット・フレイザー領事、李哲領事と

先月、特定外来生物のアライグマの捕獲に成功しました。アライグマは北米原産の動物ですが、1970年代にアライグマを題材としたアニメが放映され、ペットとして人気種となり、数万頭が輸入されました。しかし、成長すると凶暴になるため、飼いきれなくなった飼い主が次々と野山に放ち、家の屋根裏などに住み着くようになりました。野生化したアライグマが農作物を荒らす被害が多発しており、現在、全国で年間2万頭近いアライグマが捕獲されています。無許可でアライグマを飼うことは法律で禁止されています。皆さんも見つけたらすぐに役場に報告してください。犬の散歩をしていた婦人が22箇所かまれるという事件も起きています。

●アライグマ

大治町長　岩本 好広